

2013年8月28日

各位

アプリックス

セキュリティを強化した Bluetooth モジュールを開発 ～ スマホに繋がる健康機器や住宅設備の脆弱性を排除 ～

株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役:鈴木智也、以下「アプリックス」)は、セキュリティ機能を強化し健康機器や住宅設備等をスマホに安全に繋げることができる Bluetooth Low Energy モジュール「Zeemote JM1-L2S」を開発したことを発表いたします。

従来の健康機器や住宅設備等とスマホを直接繋ぐ通信方式では、利便性を上げるために機器の種類が容易に判別できたり、通信設定も簡易化されており、普及に伴いセキュリティの脆弱性に対する懸念が強まっています。さらに、通信の状況も簡単にわかるため、血圧計などの健康機器や高額な住宅設備を購入したことなどが容易に近隣や外部からわかってしまうだけでなく、利用頻度や時間帯も把握されてしまうため、プライバシーを守る上での重要な課題となってきました。

今回アプリックスが新たに開発したセキュリティ強化版 Bluetooth Low Energy モジュール「Zeemote JM1-L2S」は、おサイフケータイを始め8億台以上の携帯電話に採用されているセキュリティの強固な実行環境開発で培ってきた独自のソフトウェア技術と、米国国立標準技術研究所認定の強度な暗号化方式等を組み合わせることにより、データ通信の内容だけでなくIDや識別子等も全て暗号化し、機器の種類、個体の識別、通信内容・データ長・通信頻度等すべて第三者が容易に判別できなくなっています。これにより、どんな機器があるのか第三者から判別できなくなるだけでなく、同じ機器(個体)なのかどうかも第三者から判別できなくなり、持ち歩いた場合のトラッキングなどもできなくなります。さらに、通信内容やデータ長だけでなく通信頻度も容易に判別できなくなったことにより、健康機器などのプライバシーに直結する機器の利用頻度や、家庭内の様子がわかる住宅設備等の利用頻度も類推できなくなります。

また、家電機器や携帯電話など小型電子機器向けの高機能ソフトウェアで培って来たアプリックス独自の省スペース化技術を用いて電子認証に対応したことにより、購入直後等の初期化時から機器やユーザーのなりすましを防ぎ、第三者が勝手に操作したり、ユーザーに偽の情報を送ることなどができなくなっています。

アプリックスでは、今後も安心・安全を提供する高度なセキュリティを保ちつつ、簡単で使いやすい便利なスマホ連携機器を実現できる製品と技術を積極的に提供してまいります。

以上

■ 「Zeemote JM1-L2S」に関するお問い合わせ先:

株式会社アプリックス M2M 製品グループ

E-mail: m2m-group@aplix.co.jp TEL: 050-3786-1702

Aplix Press Release



■ 株式会社アプリックスについて

当社はデジタル家電分野におけるJava の活用にいち早く着目し、1996 年、組み込みソフトウェアメーカーとして日本で初めて Sun Microsystems よりJava のライセンスを取得しました。アプリケーション実行環境「JBlend™」や「emblend™」などのソフトウェアを搭載した携帯電話やAV機器は、世界各国の市場に既に8億台以上出荷されております。さらに「nanoJBlend」「picoJBlend」「WirelessIDEA」を始めとするスマートグリッド・M2M 向け製品が、米国や中国の大手電力関連半導体メーカー・大手通信事業者・通信モジュールのグローバルメーカーに採用されております。また当社は、その持株会社であるアプリックスIPホールディングス株式会社のグループの一員として、同グループ企業各社と連携し、最新のソフトウェアとコンテンツ・サービスを組み合わせ提供することにより革新的な次世代のサービスを世界中の人々に届けるよう取組んでおります。

■ このリリースに関するお問い合わせ先:

株式会社アプリックス IR/PR 担当

ir-info@aplix.co.jp

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。